

写真の部 入賞作品

※同賞は五十音順で掲載



茨城県知事賞

「休日」 飯田 光信 下妻市



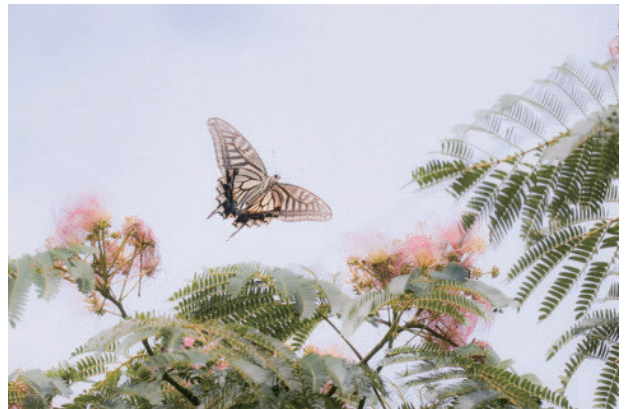
茨城県知事賞

「エレジー」 加藤 芳子 水戸市



茨城県議会議長賞

「慈悲寂静」 今泉 純子 潮来市



茨城県教育委員会教育長賞

「誘われて…」
磯山 和子 かすみがうら市



茨城県保健福祉部福祉担当部長賞
「無事故の願い」 杉山 国雄 石岡市



いばらき文化振興財団理事長賞
「夜光船」 小林 優 石岡市



茨城県社会福祉協議会長賞
「雨上る」 廣瀬 明良 水戸市



茨城県社会福祉事業団理事長賞
「木陰の花道」 野上 次男 常陸太田市



茨城県老人クラブ連合会長賞
「霧の朝」 浅野 恵美子 かすみがうら市



佳作

「光の囁き」
高島 秀二 那珂市



佳作

「出番前」
土子 孝三 潮来市



佳作

「冬田の夢」
堀越 正吾 水戸市



佳作

「旅芸人」
松葉 久雄 ひたちなか市



佳作

「夕映えを行く」
矢部 三智弥 水戸市



特別賞

「赤の関門」
高橋 實 水戸市

総評

一時代を風靡したフィルムカメラも、デジタルカメラの出現により今や片隅に。昨今はカメラが撮り手に「まかせて」とでもいうように、自動化が進み失敗なく真を写し取れるようになりました。必然的な表現も必要ですが、予感や余韻、叙情等が感じられる「間」を作ることにより、想像が生まれ新たな表現につながります。作品作りの際はひと手間をかけ、自分の想いをカメラに仕掛けてあげるのも楽しみの一つかと思えます。

私たちは審査に際し、作品中に秘む作者が何を主張したいかを探り議論し、慎重に選ばせていただきました。入賞にとどかなかった中にも多々優れた作品があり賞の枠内に納めるのに苦労致しました。雑誌や先達の真似でなく、散歩の途中等にも目を向け近場で被写体を発見しては如何でしょう。

健康に留意し撮影に挑み、次年への夢を大きく持ってご精進下さい。